



Title	エスノグラフィの研究データ管理入門：オープンサイエンス時代のなかで
Author(s)	神崎, 隼人; 森田, 敦郎; 韓, 智仁 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/104332
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License.
Note	本教材の作成にあたって、綾部真雄先生、小田博志先生、木村周平先生、佐本英規先生、中空萌先生、深山直子先生、村津蘭先生（五十音順）の諸先生方にはヒアリングの機会をいただきました。厚くお礼申し上げます。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

エスノグラフィの研究データ管理入門

オープンサイエンス時代のなかで

附属図書館 研究開発室

人間科学研究科 人類学／科学技術と文化

コースの構成

- 講義1 … エスノグラフィの研究ライフサイクルと研究データ
- 講義2 … エスノグラフィの研究データの特質と研究倫理、研究データ管理計画
- 講義3 … エスノグラフィのフィールドワークを実施する
- 講義4 … エスノグラフィを作成する：データの分析、整理、共有
- 講義5 … 本学における「オープン・エスノグラフィ」の試み

講義 I

エスノグラフィの 研究ライフサイクルと研究データ

社会科学の研究プロセス

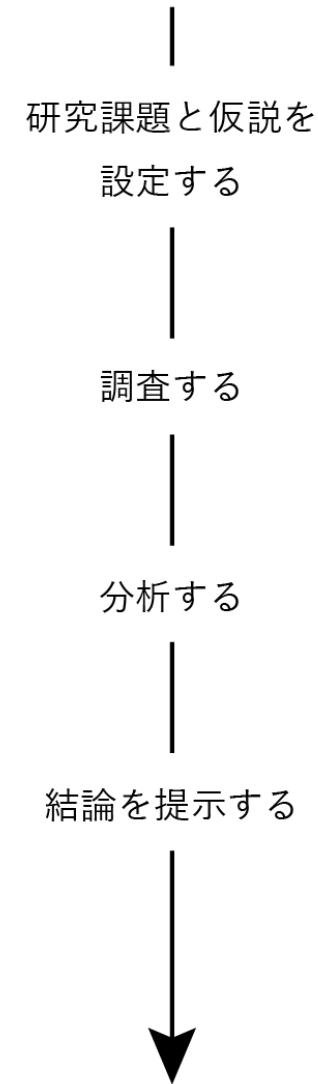
直線的に進む



多くの社会科学における研究プロセスは直線的に進む。

研究課題と仮説を設定⇒調査と分析⇒結論。

プロセスは各段階に区切られ、ひとつ終わったら次の段階へと、一方向に進む。

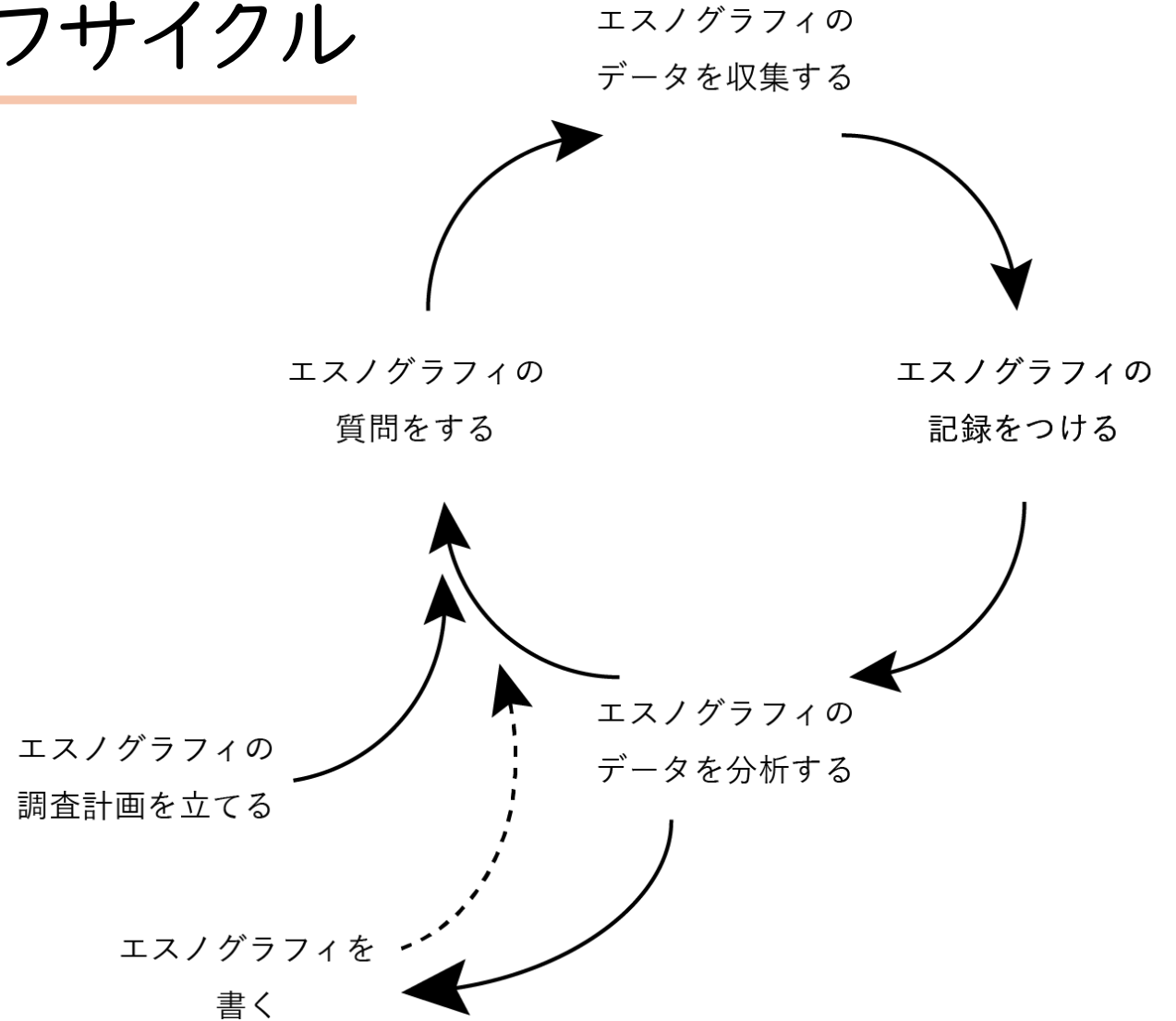


エスノグラフィの研究ライフサイクル

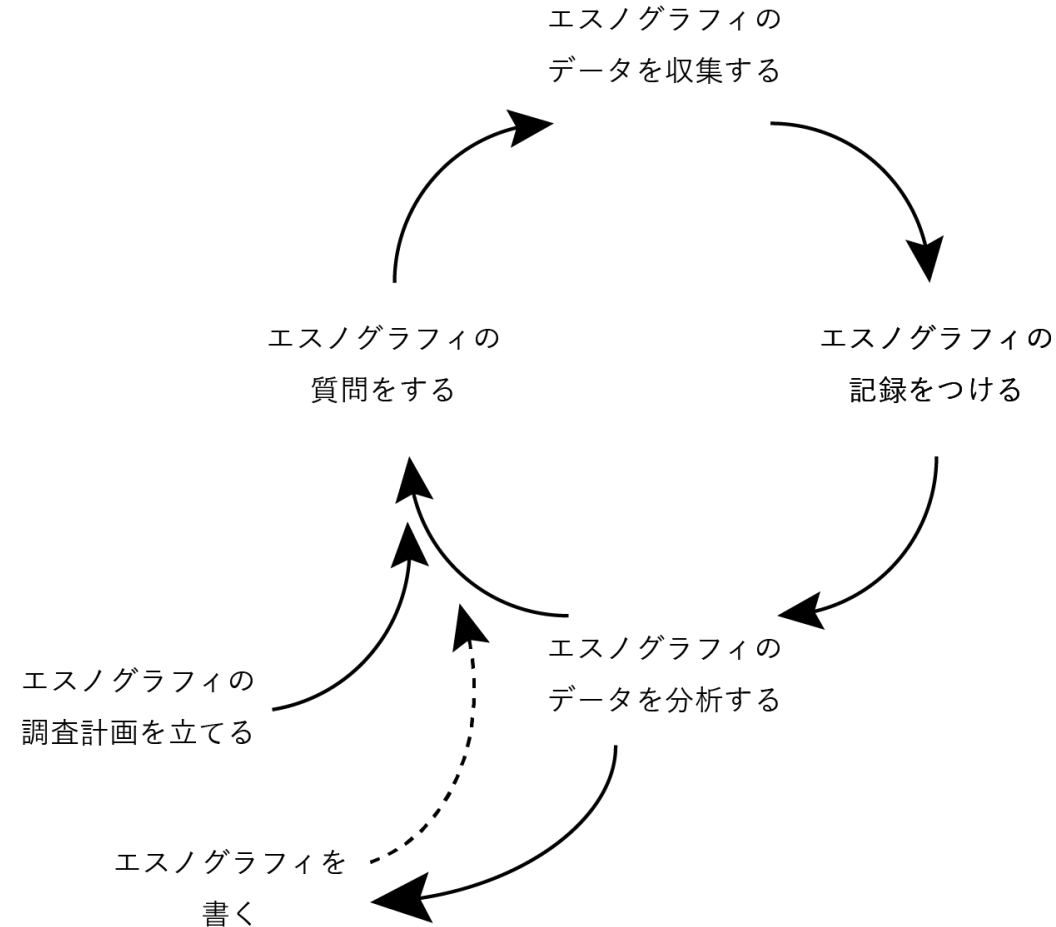
円環的に深まる

エスノグラフィの研究ライフサイクルは、
主要な作業が何度も繰り返される円環
的パターンで進む。

調査計画を立てる—データを集める—
データを分析する、という作業を「行き
つ戻りつ」しながら進む。



エスノグラフィの研究ライフサイクル



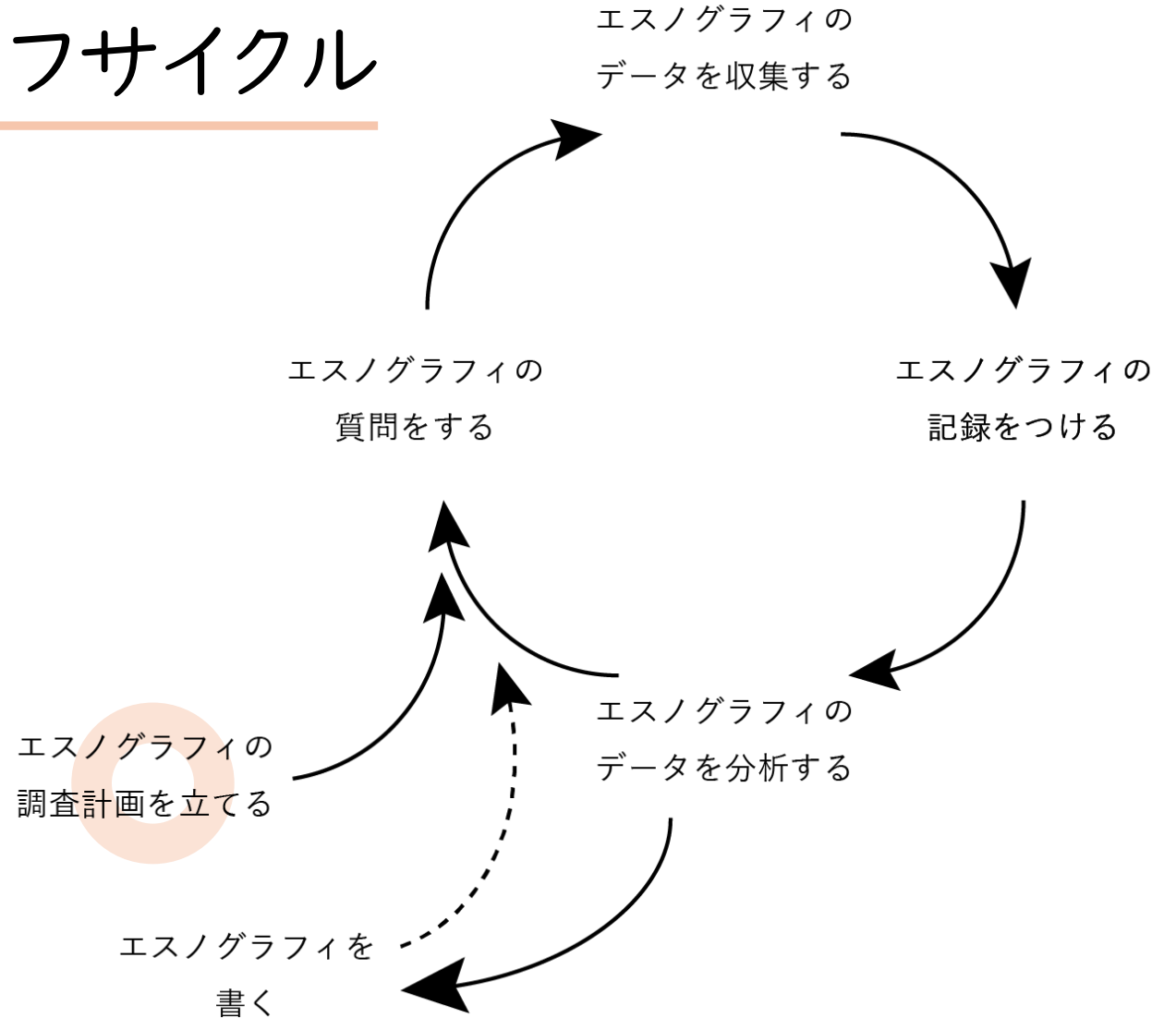
エスノグラフィの研究ライフサイクル

調査計画を立てる

社会的状況を定める。この段階では、どこで、誰の、どのような活動を調査の対象とするかを定める。

具体的な問いは現場に入ってから明確になることが多い。

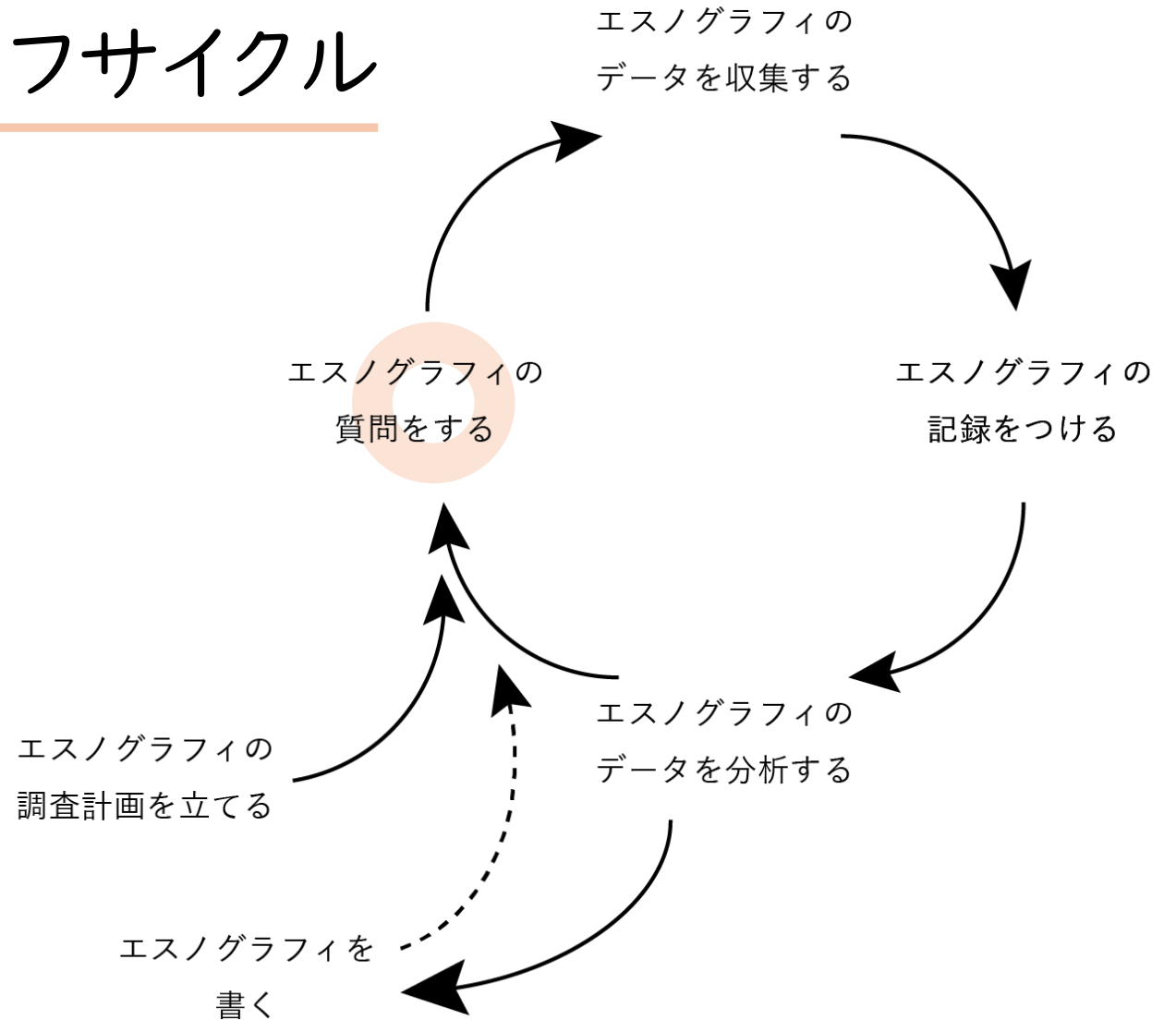
(詳しくは  講義2)



エスノグラフィの研究ライフサイクル

質問をする／問いと答えを探る

現場に問いかけ、研究の問いを現場から
見つけ、調査を通じて問いとその答えの
両方を探る。問いは常に見直される。

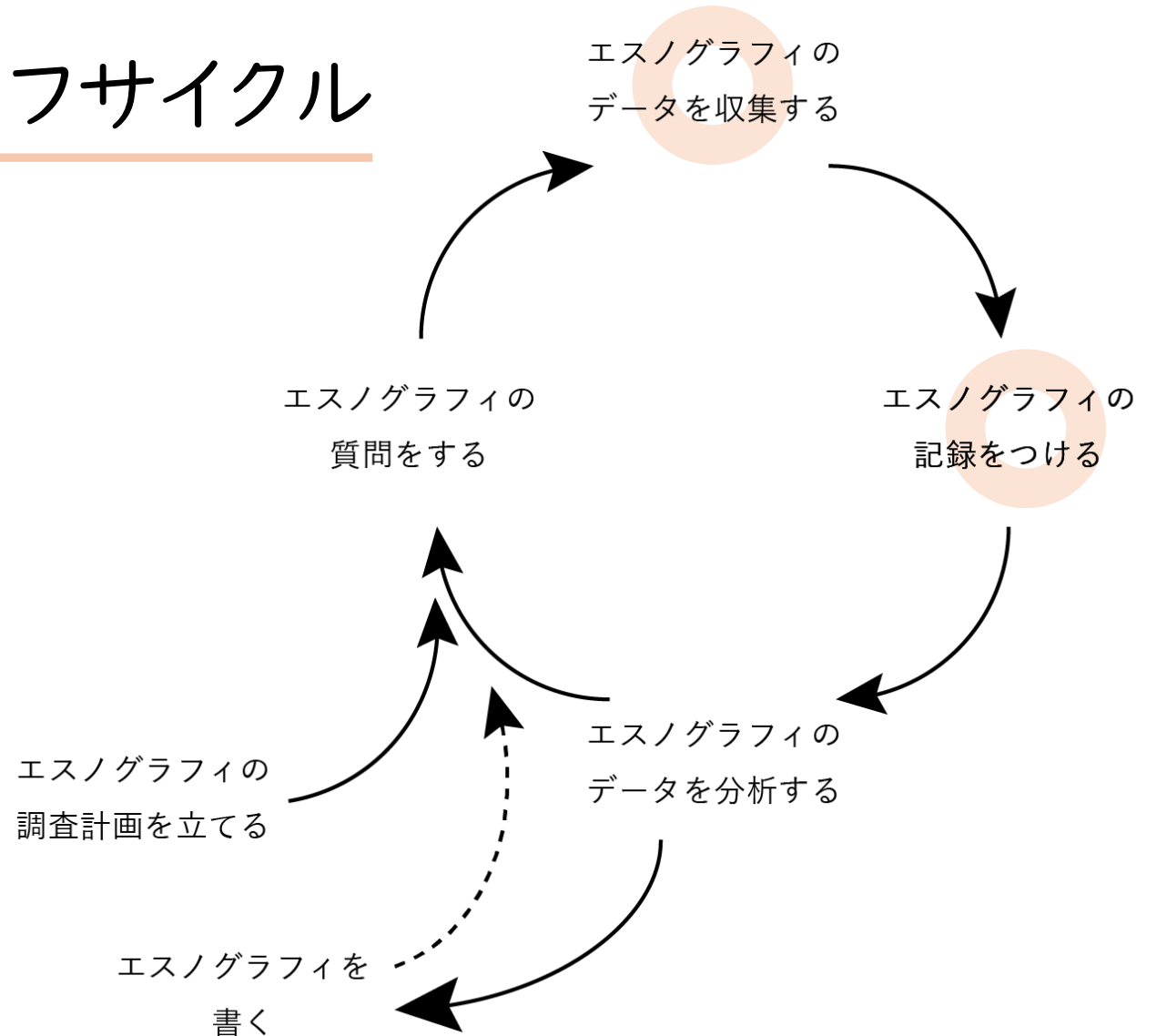


エスノグラフィの研究ライフサイクル

研究データを収集し記録する

参与観察を中心的な手法として、データの収集を行う。データはフィールドノートや写真、映像、スケッチなど、あらゆる媒体で記録される。

目的の異なる観察テクニックを適切に組み合わせることで、調査計画に即したデータを集める。



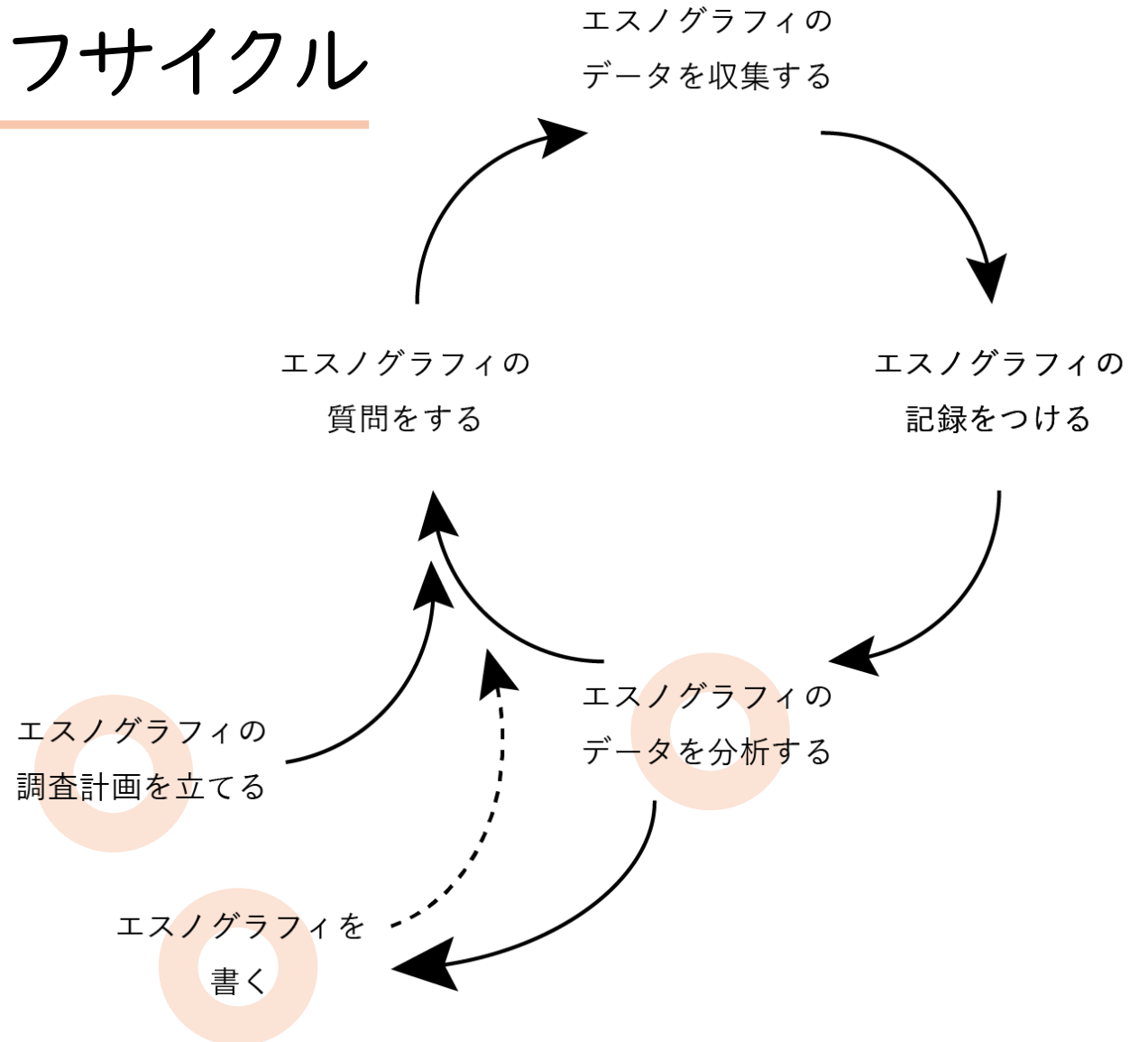
エスノグラフィの研究ライフサイクル

研究データを分析する

研究成果を公開する

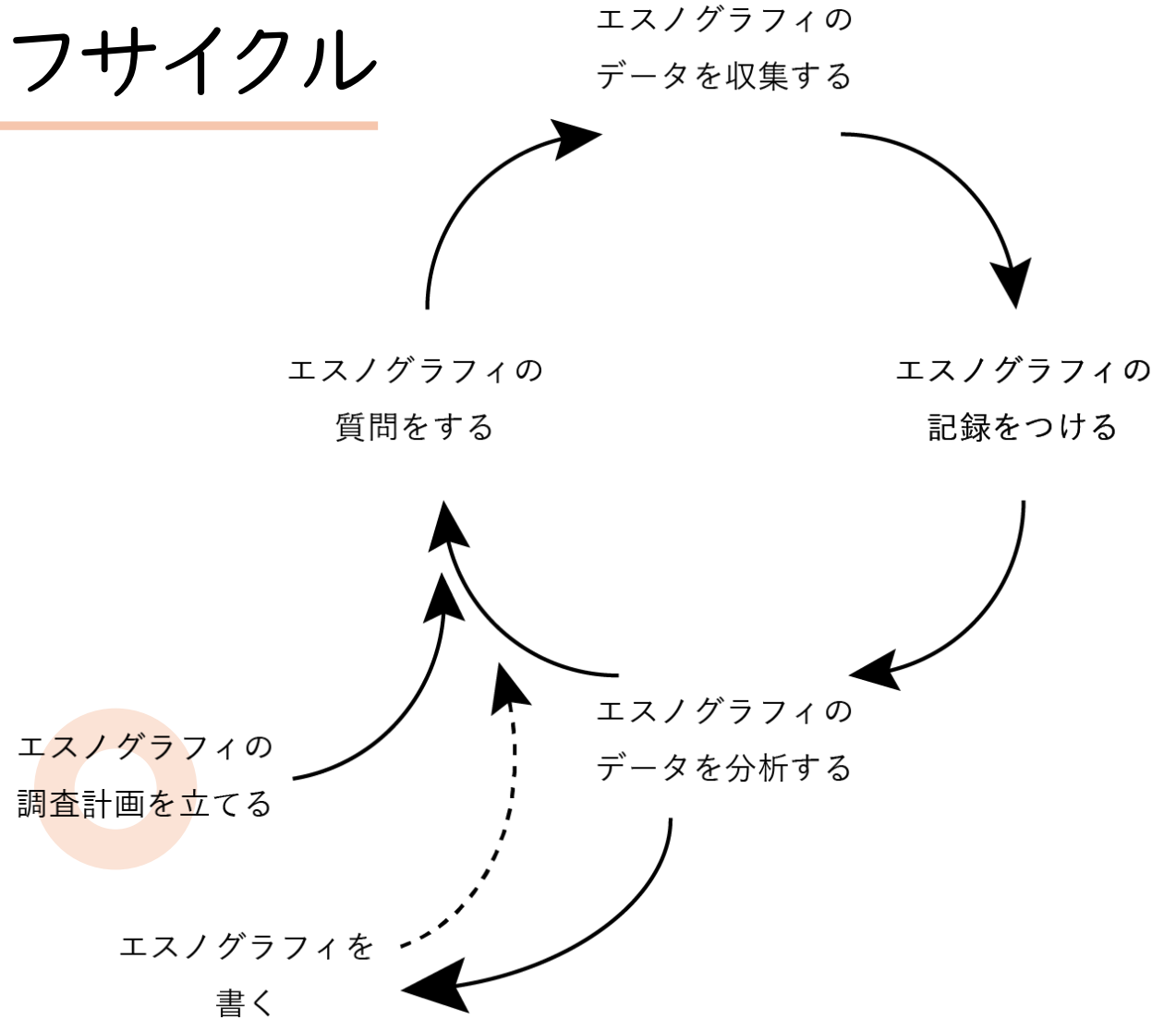
フィールドワークで研究データを収集し記録した後、分析に入る。

そして研究成果としてエスノグラフィを書く。ここで再び研究データの収集が必要になることも多い。



エスノグラフィの研究ライフサイクル

再びエスノグラフィの研究ライフサイクルが回る



エスノグラフィの研究データとは何か

大阪大学における研究データ

「研究活動の過程で研究者によって取得・収集・生成された情報、またはそれに付随する活動によって生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。」

エスノグラフィの研究データとは何か

フィールドノート

- フィールドノートとは、調査地で見聞きしたことについてのメモや記録の集積のこと。
エスノグラフィの研究データにおいて最も主要なもの。
- アナログ／デジタル:現場で手書きで残された紙のメモやノート、それらをもとにPC上でより詳細に清書されたテキストファイルの両方を含む。現場での手描きスケッチや、デジタルで作られた図も含まれる。
- 取り扱いに細心の配慮を要する情報を多く含み得るため、適切な管理を行う必要がある。

エスノグラフィの研究データ

写真・映像、音声


- 文字情報・テキストデータだけではなく、写真や映像等の視覚データや、インタビューや会話や演奏の録音等の聴覚データも大量に収集される。
- フィルムカメラで撮影した場合はアナログデータも残る。デジタルカメラやビデオカメラ、音声レコーダー等で記録されたデジタルデータは膨大になりうる。近年ではスマートフォンで撮影・録音も簡単に可能で活用されている。
- フィールドノーツのテキスト間に埋め込まれれば、写真とノーツを一体的に活用できる。インタビューや会話の録画・録音データは、その書き起こし(トランスクリプト)データの作成も伴う。

写真・映像、音声

- 撮影や録音にあたっては、必ず調査協力者から許可を得ること。
- 取得した映像、音声データはプライバシー保護の観点から、より注意深く保存する必要がある。
- 個人情報保護法やプライバシーの観点から破棄したほうがよい場合もある。
 - e.g. 現地政府・当局から開示請求対象になり、調査協力者を保護するために第三国で破棄。
 - e.g. 研究データが犯罪者・容疑者に関する場合、研究者の守秘義務が適応されない、等。


エスノグラフィの研究データ

モノ

- 現地で収集した文書。e.g. ポスター、リーフレット、チラシ、公的文書（の複写）等。
- 物質文化。e.g. 現地の楽器、日用品や道具、儀礼用の仮面、手工芸品等。
- 動植物の標本（*現在のエスノグラフィでは非常に稀かつ困難  講義2）。

エスノグラフィの研究データ

ウェブ上のデータやソーシャルメディアのデータ

- 情報通信技術の革新に伴い、エスノグラフィの研究データはウェブ上からも収集。特に新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって従来のフィールドワークが不可能な状況になり、注目される。
- 常時ネットワーク接続されたスマートフォンによって、誰もが手軽に撮影・録音データを作成し共有可能。また、位置情報やアクセス履歴などの情報（ビッグデータ）も生成。
- エスノグラフィでは、オンライン上のゲームコミュニティや、チャットのやり取りのテキストデータ、多様なアクターのウェブページ、ソーシャルメディア上の画像・動画などのデータを収集。
-  講義5

参照資料

- 大阪大学 2023/03/24「大阪大学研究データポリシー」
<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/files/e30yqd>
- エマーソン, R. ほか 1998 『方法としてのフィールドノート: 現地取材から物語作成まで』佐藤郁哉ほか訳, 新曜社.
- フリック, U. 2011 『新版 質的研究入門: 〈人間の科学〉のための方法論』小田博志監訳, 春秋社.
- スプラッドリー, J. 2010 『参加観察法入門』田中美恵子・麻原きよみ訳, 医学書院.
- Pink, S. 2009 *Doing Sensory Ethnography*, SAGE.
- Rogers, R. 2019 *Doing Digital Methods*, SAGE.